

新潟大学大学院特別講義 精神医学セミナー

■ 日時: 令和7年（2025年）10月1日（水） 17:00～18:00

■ 会場: 有壬記念会館大会議室(2F)

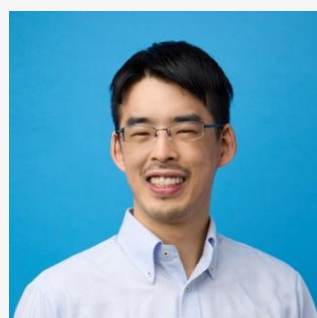
■ 座長: 朴 秀賢 先生

（新潟大学大学院医歯学総合研究科 精神医学分野 教授）

■ 講師: 齋藤 慶人 先生（メルボルン大学 大学院生）

■ 演題名: 統合失調症の前駆期から早期段階における脳構造変化の理解

■ 概要: 統合失調症スペクトラム障害では広範な灰白質および白質の変化が報告されている。本研究ではその関係性を明らかにするため、多変量解析を用いた灰白質と白質の統合的解析や、灰白質直下に位置する浅層白質の変化をFixel-Based Analysisにより評価し、認知機能との関連を検討した。さらに、Psychosis発症のハイリスク群に対して同手法を適用し、早期の白質変化を探索している。加えて、皮質下構造物形態の特性解析や小児期の統合失調型パーソナリティ障害を対象とした研究を進め、Psychosisの発症機序解明と早期介入の可能性を探索。



■ 講師: 北野 麻理恵 先生（メルボルン大学モナッシュ病院 精神科専攻医）

■ 演題名: オーストラリアのcommunity-based careの精神科医療について

■ 概要: 日本の精神科医療では、精神病床の平均在院日数が263.2日に達し、長期化が顕著となっている。これに対し、オーストラリアの公立急性期病院における精神科入院の平均は約15日と大幅に短く、地域に根ざしたケアと医療提供がその背景にある。本講演では、両国の対照的な状況を比較し、コミュニティベース医療の意義と限界を検討する。社会復帰を支え、施設依存を回避する一方で、継続性や一貫性の確保には課題が残されています。さらに、専門チームの体制、専攻医の研修や働き方、患者層の特徴にも触れながら、日本における精神科医療の将来を考える上での示唆を提示する。



■ 参加費: 無料・事前申込不要

■ 主催: 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 精神医学分野

Tel: 025-227-2213

Email: jeg5414@med.Niigata-u.ac.jp